

## 登録造園基幹技能者講習に活用できる 人材開発支援助成金について

人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース）は、雇用する建設労働者に有給で技能実習を受講させた中小企業事業主に対し、経費や賃金の一部を助成する制度です。

登録造園基幹技能者講習を受講される場合、助成を受けることができますので、本制度を有効にご活用いただけますようお願いいたします。

なお、2018年10月1日以降の講習については、計画届の提出が不要となりました。

### ◆受給条件◆

- ①中小建設事業主であること。
- ②雇用保険の適用事業主であること。
- ③受講者は中小建設事業主が雇用している雇用保険の被保険者であること。

### ◆助成額◆

経費助成：受講料(41,200円)の3/4(30,900円)

賃金助成：日額7,600円(2日の講習のため15,200円)

※助成額は、条件により増減します。詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。

### ◆申請手続◆

- ①申請事業主は、講習終了後に支給申請書を日造協に送付する。

返信用封筒（切手付き）を同封

- ②日造協から申請事業主へ、受講証明欄に記入押印された支給申請書が返送される。
- ③申請事業主は、講習を終了した日の翌日から起算して原則2か月以内に、支給新申請書および必要書類を都道府県労働局またはハローワークに提出する。

※助成金制度の詳細については、厚労省HPでご確認ください。

◆支給申請書および添付書類◆

下記ページからダウンロードできます。記入例を参考に作成して下さい。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000201717.html>

<input type="checkbox"/>	<b>【建技様式第3号（技能経賃 事業主申請）】</b> 人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成））支給申請書（建設事業主用）
<input type="checkbox"/>	<b>【建技様式第3号別紙1】（技能経費賃金 支給申請書内訳）</b> 受講者名簿及び人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成））の助成金支給申請内訳書
<input type="checkbox"/>	<b>【講習修了証（写）】</b> 登録造園基幹技能者講習では、全会場一括して、年度末（3月）に合格者に対して修了証を発行しています。そのため、申請書に後日「修了証」を添付する旨を記載して申請することにより、一時保管扱いで受付いただくことになります。対応については都道府県により異なりますので、申込み先の担当者に事前にご確認下さい。
<input type="checkbox"/>	<b>【その他 管轄都道府県労働局長が必要と認める書類】</b>

※ 記入内容については、各社異なりますので、管轄都道府県労働局に確認のうえ作成して下さい。

助成金についての詳細は下記のページをご覧ください。

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kensetsu-kouwan/kensetsu-kaizen.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kensetsu-kouwan/kensetsu-kaizen.html)

（一社）日本造園建設業協会 登録造園基幹技能者係  
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-15-2-4F  
TEL：03-5684-0011 FAX：03-5684-0012

(様式第3号)

人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成））支給申請書  
〔建設事業主用〕

記入例

労働局長 殿  
(公共職業安定所長経由)

人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成）／（賃金助成））の支給の申請を行います。 (申請年月日) 平成 年 月 日

＜支給申請を行う際の注意＞

- 建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成）の助成金は、その雇用する建設労働者（雇用保険の被保険者に限られます。）へ技能実習を所定労働時間内に受けさせ、その期間、建設労働者に所定労働時間労働した場合に支払われる通常の賃金の額以上の額の賃金を支払った中小建設事業主等に対して支給されます。
- 所定労働時間外に実施する場合は所定の賃金を支払うこと、所定労働日以外の休日に実施する場合は振替休日を与える又は所定の賃金を支払うことが必要です。
- 「通常の賃金の額」とは、当該労働者の時間外、休日及び深夜の割増賃金の算定の基礎となる時間当たり賃金の額に当該労働者の1日平均所定労働時間数を乗じて得た額をいいます。

＜経費助成＞

- ①～③は必ず記入。④は中小建設事業主以外が女性建設労働者を対象に行う場合は必ず記入。
- 登録講習機関等へ委託する場合は⑥、⑦及び⑨、⑩を記入。事業主自ら実施する場合は⑪～⑬を記入してください。

①計画届の受理番号		00000000		(中小建設事業主団体が実施する技能実習に参加した場合には、当該計画届の受理番号)		
②申請者	(フリカナ) 中小建設事業主等の名称	日本造園株式会社		③事業内容	イ 業 種	造園工事業
	(フリカナ) 代表者の役職名及び氏名	代表取締役社長 造園 太郎 (印)			ロ 常用労働者	20人 (人)
	所在地	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町00-000			ハ 資本金・出資総額	1,000万円
	(フリカナ) 代理人又は提出代行・事務代理者の名称 (フリカナ) 氏名	(フリカナ) 氏名 (印)			ニ 建設業許可番号	大臣知事 般-〇〇第〇〇〇〇号
	所在地	(電話) 0123-45-6789 (日中連絡先) 090-1234-5678		④訓練実施事業所	イ 名 称	日本造園株式会社
	(フリカナ) 代理人又は提出代行・事務代理者の名称 (フリカナ) 氏名	(フリカナ) 氏名 (印)			ロ 所在地	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町00-000
	所在地	(電話)			ハ 雇用管理責任者の氏名及び員数	造園 二郎 他 人
	担当者の職名及び氏名	イ 職名 総務課長 ロ 氏名 造園 一郎			ニ 担当者の氏名及び役職	造園 三郎 事業課長
					ホ 電話番号 (日中連絡先)	0123-45-6789 (090-1234-5678)
					ヘ 雇用保険料率	1,000分の 16.5
			ト 雇用保険適用事業所番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
⑤ 実施日数・期間		2日 (平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日 ~平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日)				
⑥ 実習内容(裏面2(5)の番号を選択)		6		⑦ 本事業の実施や対象労働者に関して公共機関からの補助や助成金の有無		
⑧ 訓練を受講する労働者からの費用徴収の有無		有・無		⑨ その他費用徴収の有無		
⑩ 学科時間		10時間		⑩ 委託費(教材費含む)		
⑪ 実技時間		0時間		41,200円		
⑫ 受講者数		2人				
⑬ 助成対象者数		2人				
⑭ 21人以上の中小建設事業主が実施する場合は⑬のうち35歳未満の人数		1人				
⑮ 中小建設事業主以外が実施する場合は⑬のうち女性の人数		1人				
⑯ 講習実施機関名(主催者名)		(一社) 日本造園建設業協会 (一社) 日本造園組合連合会				
⑰ 所要費用額合計※1		82,400円 (うち35歳未満: 0円)				
⑱ 実習場所		学 科 〇〇〇〇センター 所在地 〇〇県〇〇市〇〇町00-000 (電話) 00-0000-0000				
⑲ 実 技		イ 名称 〇〇〇〇センター 所在地 〇〇県〇〇市〇〇町00-000 (電話)				

(※1) 21人以上中小建設事業主におかれましては、所要費用額合計にしめる35歳未満の建設労働者である受講者に要した金額を記載願います。なお、建設労働者毎の金額に分けるのが困難な場合は所要費用額合計を人数で按分してください。

＜賃金助成＞

技能実習受講報告(建設労働者技能実習コース(賃金助成)の助成金)	⑭ 申請額	30,400円 (注)内訳を別紙1(内訳書)に記入してください
----------------------------------	-------	---------------------------------

＜経費助成・賃金助成 共通＞

- ⑳ は中小建設事業主は必ず記入。㉑ は必ず記入。

㉑ 技能実習の開始日時点の企業全体の雇用する雇用保険被保険者数	<input checked="" type="checkbox"/>	雇用する雇用保険被保険者数が20人以下である…(f)	雇用する雇用保険被保険者数	2人	㉒ ④の事業所以外の雇用保険適用事業所の有無	有・無
	<input type="checkbox"/>	雇用する雇用保険被保険者数が21人以上である…(g)	雇用する雇用保険被保険者数	人		
㉒ 生産性要件に係る支給申請であるか(※2)	<input checked="" type="checkbox"/> はい ・ いいえ					

(※2) 岩手県、宮城県及び福島県に所在する中小建設事業主への経費助成率は、生産性要件を満たしたかを問わず、雇用する雇用保険被保険者数が20人以下の中小建設事業主は10割、21人以上の中小建設事業主は8割(受講させる建設労働者の35歳未満であることを問わず全て)となります。

(注) この申請書を提出するときは裏面の注意事項を参照して下さい。また、別紙1(内訳書)を添付して下さい。

※労働局処理欄	●支給申請書受理年月日	平成 年 月 日	●支給決定年月日	平成 年 月 日		
	経費助成	●支給決定番号	●支給決定金額	円		
	賃金助成	●支給決定番号	●支給決定金額	円		
			●支給決定金額合計	円		
局長	部長	課長	補佐	係長	担当	備考

(H30.4)

受講者名簿及び人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成・資金助成）の助成金支給申請内訳書

No.	性別	① 受講者名簿										② 建設労働者技能実習コース（資金助成）の助成金支給申請内訳				③-1 受講証明	
		受講者氏名	所属事業所名	雇用保険被保険者番号	雇用保険料率	下請名簿番号	資本金・出資総額	専任労働者数	建設業許可番号	受講日数	受講終了日または日数	申請額(左欄の日数×日額単価)	※建設費(おしひいで下かい)	実施年月日(実施時刻)	学科時間	実技時間	
1		植木 育	日本造園(株)	0000-00000-0	16.5 1,000		1,000万円	20	般00第0000	2日	2日	15,200円	6.7円	0000年0月0日 (9:30~16:00)	5		
2					1,000									0000年0月0日 (9:30~16:00)	4		
3		公園 緑	日本造園(株)	0000-00000-0	16.5 1,000		1,000万円	20	般00第0000	2日	2日	15,200円	6.7円	0000年0月0日 (9:30~16:00)	5		
4					1,000									0000年0月0日 (9:30~16:00)	4		
5					1,000									( : : : )			
6					1,000									( : : : )			
7					1,000									( : : : )			
8					1,000									( : : : )			
9					1,000									( : : : )			
10					1,000									( : : : )			
11					1,000									( : : : )			
<p>③-2 受講証明</p> <p>上記の者は、当社（団体）が実施した技能実習の受講者であり、上記の受講日（時間）の数を受講したものであること及びカリキュラム全体の時間数の7割以上の時間を受講したことを証明します。</p> <p>証明年月日 平成 年 月 日</p> <p>実施機関名</p> <p>代表者氏名</p> <p>印</p>											<p>※備考</p> <p>この欄は実施機関が記入しますので、（一社）日本造園建設業協会宛に返信用封筒を同封しお送りください。</p>						

(注1) この内訳書に記入するときは、裏面の注意事項を参照して下さい。  
 (注2) 「建設労働者技能実習コース（資金助成）の助成金支給申請内訳」は、「建設労働者技能実習コース（資金助成）の支給申請を行う場合に記入して下さい。